

セーフコミュニティ認知度向上・取組の裾野拡大について

令和5年度の3回目の認証取得を契機に、これまで以上に「セーフコミュニティ」を盛り上げていきたいと考えております。

つきましては、多くの皆様にセーフコミュニティの取組を知っていただき、日常生活での「けがや事故の予防」を実践していただくために、各対策委員会委員の皆様におかれましても、ご協力をよろしくお願いいたします。

1. くるめ「まちカメ」ボランティア事業（新規）

目的：防犯カメラやドライブレコーダーを設置している市民が、まちの見守りに関わることで、防犯や交通安全に対する意識の向上を図り、セーフコミュニティの裾野拡大に繋げる。

開始時期：令和6年7月（予定）

登録要件：①市内で自宅や事業所等に防犯カメラを設置している

②運転免許証とドライブレコーダーを所有しており、市内在住または通勤・通学等で市内を利用する方

活動概要：①自宅や事業所等にステッカーを貼る

②車にステッカーを貼り、市内を走行する

2. SNS

(1) セーフコミュニティ Instagram（新規）

セーフコミュニティに関するイベントや取組等、タイムリーな情報を発信

(2) 市公式 LINE

毎月21日に配信

(3) 市公式 YouTube

約10秒のショート動画を学生と協働で10本程度作成

(4) オンラインクイズ（新規）

応募者の中から抽選でプレゼント

3. セーフコミュニティ標語の募集

平成28年度から毎年募集しておりますセーフコミュニティ標語は、年々応募者数が増加し、昨年度は、3,441作品の応募がありました。今年度の標語募集の際も、チラシを委員の皆様にご送付しますので、所属団体内での周知・応募にご協力ください。応募者全員にプレゼントがあります。 《応募期間：令和6年6月1日（土）～9月30日（月）》

4. 出前講座「けがや事故は予防できます～セーフコミュニティ～」

申込いただければ、安全安心推進課の職員が出向いて無料でお話します。
(5名以上のグループ・団体)

5. 貴団体での啓発

別紙調査にご回答ください。

(1) のぼり旗の活用

今般、新しくのぼり旗を作成しました。イベントや研修会などでの使用、施設内での設置などでのご活用をお願いします。



(2) 会議や講座の際、動画やパワーポイント等を使用した PR

数分お時間いただける場合は、使用する素材を提供します。プロジェクターやスクリーンの貸出もできます。

(3) イベント等での啓発物やチラシの配布

啓発物：SC 反射ストラップ、SC 日めくりカレンダー、SC クリアファイル、SC シール
※SC ガチャの貸出もできます。



(4) 広報誌などに SC の記事を掲載

紙面の大きさや記載内容などご相談させていただき、情報を提供させていただきます。



(5) 啓発物などに SC ロゴを掲載

別紙ロゴ集参照

6. セーフコミュニティ啓発強化月間

セーフコミュニティの国際認証を取得した月 (H25.12.21、H30.12.8、R6.12.9) に因んで、12月にセーフコミュニティの啓発を強化。

〈具体的な取組例〉

- ・ 国道への横断幕の設置、市庁舎への懸垂幕の設置
- ・ 街頭啓発の実施
- ・ のぼり旗等の掲示
- ・ セーフコミュニティピンバッジ・ネクタイの着用

①文書背面に使用するロゴ（薄い）



②ロゴ（背景透過）白などの背景に使用



③ロゴ（背景透過）濃い色の背景に使用



④ロゴ青（背景色：白）



⑤ロゴ（メダル風）since2013はテキストボックス



⑥ロゴ+説明/文書下段に使用（グループ化しています）



みんなで取り組む安全安心まちづくり

久留米市は、WHO(世界保健機関)が勧める「セーフコミュニティ」国際認証を取得し、市民の皆さん、行政、学校、警察、消防、各種団体と連携して「安心して生活できる安全なまちづくり」に取り組んでいます。

⑦ロゴ+文字（背景色：白）いろいろ

みんなで取り組む
安全安心のまちづくり



セーフコミュニティ
国際認証都市
久留米市



みんなで取り組む
安全安心のまちづくり



セーフコミュニティ国際認証都市
久留米市



セーフコミュニティ国際認証都市 久留米市

— みんなで取り組む安全安心まちづくり —



— みんなで取り組む安全安心まちづくり —

セーフコミュニティ国際認証都市 久留米市



画像化前→



⑧SCくるっば+説明（グループ化/サイズ変更可）

みんなで取り組む
安全安心まちづくり

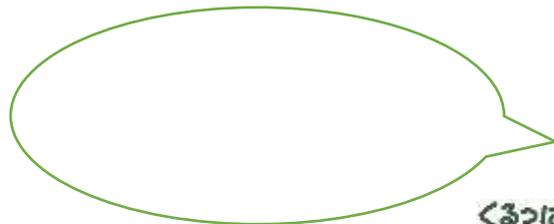


国際認証都市 くるめ

みんなで取り組む
安全安心まちづくり



国際認証都市 くるめ



くるっば

久留米市イメージキャラクター

⑨SCくるっば+吹き出し（グループ化なし）

⑩くるっぱ両面 (背景透過) トリミングで片方使用



⑪くるっぱ手持ち (グループ化/サイズ変更可)



⑫2022 エコバッグデザイン (背景透過なし)



⑬2020 ステッカーデザイン



⑭2018 看板デザインより



⑮二次元バーコード（セーフコミュニティトップページ）



⑯二次元バーコード（動画ページ）



⑰元祖 SC 久留米のマーク



— みんなで取り組む安全安心まちづくり —
セーフコミュニティ国際認証都市 久留米市

- 担当課：協働推進部安全安心推進課
〒830-8520 久留米市城南町 15-3
- 連絡先：電話 0942-30-9094 FAX 0942-30-9706

久留米市ホームページ
セーフコミュニティ通信



セーフコミュニティ合同対策委員会について

1 概要

平成23年のセーフコミュニティ取組宣言以降、対策委員会委員をはじめ、多くの関係機関や団体、市民との協働により、取組の評価・検証を積み重ねながら、より効果的な取組を展開し、地域の安全性の向上を図ってきた。

取組宣言から10年が経過し、取組の成果は出ているものの、セーフコミュニティの認知度向上、市民参加の拡大、セーフコミュニティ活動の定着が今後の課題である。

このことから、これまでの活動を振り返り、情報の共有、共通課題の認識を図り、今後の展開について検討するため、セーフコミュニティ合同対策委員会を実施。

2 実施内容

令和3年度

日時：令和4年3月3日（木）14:00～15:30

実施方法：オンライン（Zoom）及び動画視聴（3/10～3/23）

内容：①報告「これまでのセーフコミュニティ活動の取組について」

（協働推進部安全安心推進課職員）

②講演「セーフコミュニティの基本と今後の展開について」

（日本セーフコミュニティ推進機構 代表理事 白石陽子氏）

*②の中で「安全安心のまちづくり」に、より多くの市民のみなさんが参加できる工夫について個人ワーク（私が思う市民の周知度及び参加度⇒その理由⇒私のアイデア）を実施

令和4年度

日時：令和5年3月24日（金）13:30～15:00

場所：久留米シティプラザ 5階 大会議室

内容：①報告「これまでのセーフコミュニティ活動の取組と今後の展開について」

（協働推進部安全安心推進課職員）

②ワークショップ（日本セーフコミュニティ推進機構 代表理事 白石陽子氏）

セーフコミュニティを伝えるために、各委員がそれぞれの立場でできることについて、対策委員会ごとにグループワークを実施

・個人ワーク：市民個人として「久留米が安全・安心なまち」になるためにできることを考える。

- ・グループワーク：グループで、「自分の組織・団体に対してできること」「活動・仕事のなかで関わりのある方・組織・団体に対してできること」「市民一般（大勢）にできること」に整理する。
- ・成果の共有：内容の報告

令和5年度

日時：令和6年1月31日（水）14:30～16:00

場所：久留米シティプラザ 5階 大会議室

内容：①取組報告：令和4年度合同対策委員会のまとめ、動画の紹介など

（協働推進部安全安心推進課職員）

②ワークショップ（日本セーフコミュニティ推進機構 代表理事 白石陽子氏）

「50年後も安全なまちであるために私たちができること～災害をテーマに考える～」と題し、各対策委員会混合でのグループで、「1週間以内」「1か月以内」「1か月以上」ごとにリスクを考え、それに対してそれぞれの所属団体等で何ができるかを出し合い、共有。

令和6年度～